

## 世界の豆知識 中国 旧正月の伝統行事『元宵節』

中国で、旧正月の締めくくりに行われる伝統行事について、国際交流員の楊笛さんが紹介します。



毎年旧暦の1月15日は中国の元宵節（ユエンショージェー）。これは、春節後初めての満月の日で、今年は2月6日（月）です。この日、中国では、あるものを食べる習慣があります。それは元宵（汤圆）という団子です。

元宵とはもち米の粉を原料で作った餡入りの団子で、中にはさまざまな餡が入られます。代表的な餡には、胡麻、砂糖、ピーナッツ、小豆などがあります。揚げたり蒸したりもしますが、ゆでて食べる人が多いです。

元宵を食べるだけでなく、元宵節には灯籠を飾って、邪気を追い払い、旧正月の最終日に華やかさを添えます。日本でも、横浜や神戸、また長崎の中華街では、灯籠祭りが開かれるようですね。

### 国際理解講座 青空キムチ作り教室 ～第2弾～

12月に開催し、大好評だったキムチ作り。韓国出身のチェさんと一緒に本場のキムチ作りに挑戦してみよう。

- 日時 2月26日（日）午前10時～午後1時
- 場所 豊中町保健センター調理室
- 定員 50人（要予約・先着順）
- 講師 チェ・ヨンジン
- 材料費 一般 700円  
会員 500円
- 準備物 エプロン、持ち帰り容器
- 申し込み 2月6日（月）～



※室内と外の両方でキムチを漬けますので、温度調節が可能な服装でご参加ください。

▶問い合わせ (財)三豊市国際交流協会 ☎56-5121 (火曜休館) <http://www.mitoyo.org/>

ハフチョン

### 陝川郡『第11回さくらマラソン大会』市民ランナー募集

- 日時 4月7日（土）～10日（火）  
【大会は8日（日）】
- コース 5km、10km、ハーフ、フル
- 参加資格 18歳以上の健康な人
- コースの特徴 全コース傾斜が少なく、両側桜並木の中を気持ちよく走れます
- 行程 三豊市→陝川郡→マラソン大会→歓迎交流会→韓国国内見学→三豊市
- 定員 30人
- 費用 約8万円
- 申し込み期限 2月29日（水）



人員報告



功労表彰



消防操法



一斉放水



団長宣誓

## 地域の安全は自らの手で守る

平成24年三豊市消防団出初式

三豊市消防団出初式が、1月8日、上高瀬小学校運動場で挙行され、団員930人、三豊市消防団34人、消防車など30台が参加しました。式典では、10年・20年勤続の団長表彰や三豊市消防団長表彰が授与され、30年勤続団員の家族に市長感謝状が贈られました。また、日ごろの練習の成果を発揮した消防操法や一斉放水も行われました。

田中団長は「団員一人ひとりが心身の錬磨と時代の変遷に応じた知識・技術の習得を心がけ三豊市の安全安心のまちづくりに努めます」と宣誓し、参加した団員一同は東日本大震災で得た教訓を胸に、防火・防災への決意を新たにしていました。

### 農家のお母さんの技術を学ぼう

(4回シリーズ)

- 日時 2月22日（水）午前9時～午後1時
- 場所 財田大野農業構造改善センター
- 対象 市内在住で農産加工に興味のある人
- 定員 先着20人
- 内容 みそ作り
- 材料費 500円
- 持参物 エプロン、三角布

▶問い合わせ 農業振興課 ☎73-3040



### 宗吉かわらの里展示館無料開放デー



▲いろいろな物を作ってみよう！

- 日時 2月26日（日）午前9時～午後5時
- 場所 宗吉かわらの里展示館
- 内容 観覧無料(展示説明ガイド有り)  
粘土作品づくり(ミニ瓦・ミニ鬼瓦・土笛など)

▶問い合わせ 宗吉かわらの里展示館 ☎56-2301

▼問い合わせ 総務課 ☎73-3000

自主防災組織の結成、補助金申請の手続きは総務課までお問い合わせください。

|         |                    |
|---------|--------------------|
| 情報収集伝達用 | ハンドマイク、携帯用ラジオ      |
| 初期消火用   | 消火器、バケツ、ヘルメット      |
| 水防用     | スコップ、ロープ、土のう袋      |
| 救出用     | ボール、はしご、チェンソー、のこぎり |
| 救護用     | たんか、救急セット、テント、毛布   |
| 避難用     | ライト、発電機、ガソリン缶      |
| 給食・給水用  | コンロ、給水タンク、食器       |
| その他     | 訓練用消火器、簡易収納庫、リヤカー  |

自主防災組織が防災資機材を整備する際に、購入価格の50%の補助を行っています（上限10万円）。

大災害が発生した場合、公共の防災機関は総力をあげて応急対策を行います。その地域に備えることは困難です。そのような時こそ、自主防災組織の力が不可欠になります。各自がバラバラに動いても個人の力には限界があり、かえって危険な場合もあります。隣近所の人と協力し合い組織的に行動すれば、より大きな力となって被害を最小限に食い止めることができます。

自主防災組織が防災資機材を整備する際に、購入価格の50%の補助を行っています（上限10万円）。

### 災害に備えて5

自主防災組織と  
防災資機材整備費補助

